

平成18年度外部評価（最終）

【評価基準】 A...自己評価は適当である B...自己評価は適当でない
C...外部評価は可能であるが資料不足 D...外部評価は不可能である。

領域	短期経営目標	評価指標・評価基準				児童 アンケート	保護者 アンケート	教職員 アンケート	自己 評価	外部評価部会記入欄	
		成果指標（めざす児童の姿）								評定	自由記述
学 力 の 向 上	学ぶ意欲を引き出すための 指導法工夫改善に取り組む。	4	授業への理解度（満足度）90%以上		94%		100%	4.0	A	学習意欲を高めようとする、教 職員の意気込みや創意工夫が感じら れる。 【理解】児童の回答「わかる」以上が 94%は非常に高い水準だと思う。 【話す】ふつう、話すことは苦手な 児童が多い。自己評価の正否は別と して、話すことへの意欲が高められ ていることが分かる。 【聞く】教職員の自己評価が幾分低 くなっているのは、集中力が長続き しない児童実態があるのかもしれない。 児童の注意をそらさない授業の 工夫が必要だと思う。 【基礎学力】保護者の評価が高い。 教職員から見れば課題は小さくない ようだが、継続した取組が保護者の 安心感と学校への信頼感を大きくし ているように思う。 漢字の指導は、計算の指導に比べ て難しいのではないだろうか。教職 員個々の考えで指導するだけでなく、 学校として基本となる漢字指導 の方法を研究してほしい。学校とし ての指導方法が確立すれば、効率的 に児童の負担も少なく、効果を上げ ることができるように思う。 【人間関係】人間関係づくりへの取 組は、学校（教職員）の意欲や努力 を感じる。学級づくりに力を注いで おられることが、児童や保護者のア ンケートの高数値として表れてい る。 【言語環境】児童は納得しているが 保護者、教職員からみれば不十分。 言葉遣いは生活環境（ゲーム・テレビ などを含めて）に影響を受けて身につ けることがほとんどだと思う。指導 は困難で短期に結果を出せないが、 継続した指導で成果を上げることが 出来るのではないかと。 【体験】積極的に豊富な体験学習を 仕組んで行く必要があり、その意味 からも年間計画（一覧表）の完成は 意義深い。将来的には計画の評価の ために、実施後の「報告書」が必要 になると思う。 【外遊び】運動場に出て遊ばせるた めには、時間の保障が条件になる。 また、児童が外に出る出ないは別と して、時間を守って「授業はチャイ ムからチャイムまで」ということを 児童に意識づけることが、学習意欲 の向上にもつながるのではないかと 思う。 【家庭との連携】睡眠・朝食摂取・ 家庭学習など日々の生活に欠かせな い事柄が、これまでの継続した啓発 によって好結果、高評価として三者 の自己評価に表れたと言える。今後 も家庭との連携を蜜にすることが欠 かせない。 また、地域との連携をさらに進め ることによって、子どもたちの「故郷 づくり」にも、つながることを期待 したい。	
		3	80%以上								
		2	70%以上								
		1	70%未満								
	話し方の評価規準をクリアできた児童	4	話し方の評価規準をクリアできた児童		86%		100%	2.8	A		
		3	（低・中）85%以上（高）75%以上								
		2	（低・中）75%以上（高）70%以上								
		1	（低・中）65%以上（高）60%以上								
	聞き方の評価規準をクリアできた児童	4	聞き方の評価規準をクリアできた児童		89%		91%	2.6	A		
		3	（低・中）90%以上（高）80%以上								
		2	（低・中）80%以上（高）70%以上								
		1	（低・中）70%未満（高）60%未満								
	読み・書き・計算など基礎 学力の確実な定着を図る。	4	学年の達成規準（計算）をクリアできた児童		77%	基礎学力		3.5	A		
		3	（低・中）85%以上（高）80%以上								
		2	（低・中）80%以上（高）75%以上								
		1	（低・中）75%未満（高）70%未満								
学年の達成規準（漢字）をクリアできた児童	4	学年の達成規準（漢字）をクリアできた児童		79%	基礎学力		2.6	A			
	3	（低・中）90%以上（高）85%以上									
	2	（低・中）80%以上（高）75%以上									
	1	（低・中）75%未満（高）70%未満									
豊 か な 人 間 性 の 育 成	子ども同士、子どもと教職 員の温かい人間関係づくりに 取り組む。	4	先生や友だちが認め励ましてくれると感じる児童95%以上		87%	信頼関係	100%	2.0	A		
		3	90%以上								
		2	85%以上								
		1	85%未満								
	言語環境を整える。	4	丁寧な言葉遣いで話すことができる児童90%以上		先生へ 90% 友だちへ 81%	時と場に 応じた言葉		2.4	A		
		3	85%以上								
		2	80%以上								
		1	80%未満								
社会や自然とのかかわりを 強め、体験を通しての学習 を重視する。	4	自然や社会との関わりについて、気付きを自分でまとめる ことができる児童		81%	自然活動・ 地域の人と の活動	100%	3.2	A			
	3	95%以上									
	2	90%以上									
	1	85%以上									
健 康 ・ 体 力 つ く り	体力の向上を図る。	4	外遊び（投の遊びを含む）が日常化したと感じる児童		81%	外遊び	健康・体力	91%	91%	3.0	A
		3	90%以上								
		2	80%以上								
		1	70%以上								
	家庭と連携し、基本的な生 活習慣の確立を図る。	4	必要な睡眠がとれている児童		82%			76%	3.1	A	
		3	（低）90%以上（高）85%以上								
		2	（低）85%以上（高）75%以上								
		1	（低）80%以上（高）70%以上								
		4	毎日朝食がとれている児童								
		3	100%								
		2	95%以上								
		1	90%以上								
	家庭学習が定着している児童	4	家庭学習が定着している児童		82%			78%	3.4	A	
		3	85%以上								
		2	75%以上								
		1	65%以上								
泳力の向上を図る。	4	泳力25m以上の4年生児童80%以上		91%				4.0	A		
	3	70%以上									
	2	60%以上									
	1	60%未満									
ま ち ぐ る み	外部評価を含め学校評価 を、学校教育活動へ生かす。	4	学校教育活動への肯定的評価					4.0	A		
		3	80%以上								
		2	70%以上								
		1	60%以上								